

# のびゆく長崎っ子 75

つなげ人と心 地域の輪  
子どもの出番を広げよう きらめく長崎の子どもたち



## 今号の内容

- ★ 稲佐小育成協の取り組み
- ★ 長崎子どもゆめ体験
- ★ 第37回広島・長崎子ども会親善交歓会
- ★ 東公民館区の取り組み
- ★ 育成連・市子連親睦スポーツ大会
- ★ 編集後記

## 🌻 今日も元気ハツラツ“稲佐ッ子”

稲佐小学校区青少年育成協議会 会長 鳥嶋 正弘

世界新三大夜景に認定された稲佐山の麓に位置する稲佐小学校。歴史は古く昨年11月に学校創立130周年を迎えた伝統校であり、稲佐地区のシンボルとして存在しています。

そういう中、育成協の活動も活発に展開されており、特に夏休み期間は役員及び子ども達も多忙な毎日です。

夏休み前に期間中の事故防止を目的に「子ども110番の家庭情報交換会」を開催して学校、自治会、家庭の意志統一を図ります。

夏休み期間中は

- ①10日間の「学校プール開放」の監視責任者及び補助員のお世話
- ②家庭でのお手伝い、片付けを目的に「親子料理教室」の開催
- ③夏休みの自由研究の手助けを目的に「工作教室」の開催
- ④記録的な猛暑の中で熱戦を繰り広げた「ラジオ体操コンクール」及び「ドッジボール大会」を11自治会による対抗戦として開催



ラジオ体操は毎朝行っているラジオ体操の参加意識を高める目的で実施

予選会及び上位4自治会による決勝戦を行い、1位から3位まで優勝旗及び表彰状を渡しています。それが終了後「ドッジボール大会」へ移行

2コートにチーム分けをして試合時間7分、12名の選手で競技を開始。各自治会予選会2試合を行い、順位をコート毎に決定。最後は順位戦を行い1位から3位まで優勝旗及び表彰状を渡しています。

大会終了後は自治会毎に子ども会で準備した弁当を食べながら子ども会の交流を図っています。

このように夏休み期間中は多忙ではありますが、“子どもは宝です”。地域の子どもは地域で守り育てる事で稲佐小学校区の活性化につながる事を念じて、今後も学校、地域、家庭、三者一体と成り育成協活動を展開してゆきます。

## 長崎子どもゆめ体験

国際的な視野を広げ、地域の子どもたちのリーダーを育成することを目的として、次代を担う長崎市内の中学生 30 名が7月29日（月）～8月2日（金）の4泊5日の日程で、韓国を訪問しました。団員の皆さんはソウル市と釜山市の中学校において、現地の子どもたちとの交流を行い、友情の絆を育みました。



日程及び主な活動・研修内容	7月29日(月)	出発式、福岡空港から韓国仁川空港へ ソウル市へ到着
	7月30日(火)	ソウル市紫陽(ジャヤン)中学校の皆さんとの交流 午後、現地研修後、※NANTA観賞
	7月31日(水)	※KTXにてソウル市から釜山市へ移動 午後、釜山水族館を訪問表敬、見学
	8月 1日(木)	釜山市下南(ハナム)中学校の皆さんとの交流 午後、班別研修(釜山市内)
	8月 2日(金)	釜山空港から福岡空港へ 昼食後、市民会館到着

※NANTA:韓国の伝統的なリズムを素材にして、キッチンで起こる出来事をコミカルにドラマ化した誰もが気軽に楽しめる非言語公演。

※KTX:韓国高速鉄道(Korea train express)

### 参加した団員の声 ～感謝の声～

- 韓国の中学生との交流は不安だったけど、言葉が通じたときすごくうれしかったです。
- 韓国での研修を通じて、これから英語を勉強して多くの国の人と交流していきたいと思いました。
- 今回、貴重な体験ができて本当によかったです。かかわっていただいた多くの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

